

園芸施設共済の加入者様の声をご紹介します！！

PART7

～共済金で園芸施設を修繕～



キュウリ（鉄骨ハウス2棟）
桐生市
須永 好一さん

農家として継続的に農業を営むためには、自然災害に備える必要があると考えていたので、園芸施設共済制度ができたあたりから、長年にわたり加入しています。

最近では令和6年3月の突風で被覆材と鉄骨が被害に遭い、共済金を受け取りました。付保割合を高め設定していたおかげで手厚い補償を受けることができ、修繕費用に充てることができました。

自然災害はいつ起きるか予測ができません。被害が起きてから「あの時に共済に加入していれば」と後悔するよりも、備えとして園芸施設共済に加入しておくことで安心して農業に取り組むことができると思います。そのため、私はこれからも園芸施設共済に加入をしようと思っています。

